

## 利用者等による意見交換会の概要

施設名	箕面市立多文化交流センター
指定管理者名	公益財団法人箕面市国際交流協会
開催日時	2021年(令和3年)8月25日(水)10時30分～12時
開催場所	箕面市立多文化交流センター 2階 会議室
参加人数	22名 内訳:センター利用者16名(内Zoom参加8名)、 協会職員4名(内Zoom参加1名)、市職員2名

【概要】別添のとおり

<p>内容</p>	<p>指定管理者：配布資料に基づいて昨年度の実施事業報告と利用状況、今年度の7月に行ったアンケート結果（119名の回答）の概要、今年度の事業計画について説明。</p> <p>質疑応答は次のとおり。</p> <p>① センターの事業について</p> <p>【日本語教室について】</p> <p>利用者：最近、日本語教室に新たに参加したいという外国の方が増えているように感じる。せっかく興味があっても、行きたいクラスがいっぱいだったりするので、定員や機会を増やしてはどうか。</p> <p>指定管理者：日本語教室に関する問い合わせが増えている。定員オーバーの教室もあるが、せっかくつながった人のニーズに何らかの形で答えていきたい。</p> <p>【ハット市とのスカイプ交流について】</p> <p>利用者：ハット市とのスカイプ交流は、途切れてから随分経つ。時間が経つほど先方と疎遠になると思うが、何の動きもない。</p> <p>指定管理者：こちらの対応が遅れている。スカイプ交流は今年度、国際交流協会（指定管理者）が主催するかたちで取り組んでいくことになった。前半期にコロナ禍の状況もあってなかなか進められないが、今後取り組みたい。</p> <p>利用者：コロナ禍だからこそ、オンライン事業をできるのではないか。</p> <p>指定管理者：ニュージーランドと情報交換をすることは有意義だと考える。毎回、決めたテーマについてきちんと準備をして、開催方法や内容についてももっと工夫していきたい。</p> <p>利用者：多くの団体が、コロナ禍でリアルでの活動ができていない。アフターコロナの時代は、リアルとリモートのハイブリッドでやっていく必要がある。オンライン上でやり取りしてきたスカイプ交流は先進的な取り組みであり、リアルな事業を盛り上げるためのオンラインの活用は今後ますます重要になっていくと思う。</p> <p>指定管理者：スカイプのような媒体がどんどん変わっていく。通信機能も多様化しているので、ハット市とのスカイプ交流についても、ZOOM等を使えばもっと参加者を広げることもできるのではないかと考える。そのための基盤整備をきちんと行う必要がある。</p> <p>利用者：もっと多くの市民も巻き込んでいきたい。ニュージーランドでは昼間にイベントをセッティングすることが可能なので、国際交流協会にももっと呼びかけに協力してほしい。</p> <p>【多文化理解プログラムについて】</p> <p>利用者：地域の小学校へ出講する多文化理解プログラムの内容があまり共有されていないように感じる。例えば箕面市のHPにも、講師の参加者数は発表されているが、内容も共有してほしい。</p> <p>また、小学校に通う外国ルーツの子どもの保護者の相談会などに参加すると、色々な保護者の方と話して、これまで見えていなかったことが見えてくる。教育委員会の人も参加して、みな共感をもって聞いているのだが、その次のステップが見えてこない。そこで出された意見がどのように活かされているのか。</p> <p>指定管理者：国際交流協会が行っている事業の質的な内容、例えばどのような相談が</p>
-----------	---

寄せられていて、どのようなことに困っているのか、どのように対応しているのか、またたくさんある事業がどのようにつながっているのか、ということをもっと共有していく必要があると考える。

事業の質的な中身を伝えていくツールとして、「めろん」とホームページがある。ホームページは9月にリニューアルする予定なので、もう少し詳しく事業の報告を掲載していきたい。

また、学校や市職員の研修などの機会も活用して、いただいた意見を共有していきたい。

利用者：「みのおポスト」の記事にも掲載できるので、相談していただきたい。

#### ② 貸館について

利用者：緊急事態宣言発令中だが、普通の貸館はできるのか？

指定管理者：貸室利用は20時まで、イベント実施時は21時まで延長可能である。

市：府の方針に基づいて、箕面市も開館基準を定めている。

#### ③ その他

指定管理者：今後も施設の利用状況の向上と職員の待遇改善につなげていくため、お気づきの点があったら、いつでもお伝えいただきたい。

以上